

目指す授業づくりに向けて

No. 4

H26年 12月 3日

研究授業 5年2組 国語科

単元名：動物と人間のかかわりをえがいた本を読もう

教材名：「大造じいさんとがん」

授業者 松浦 愛

【成果】

- ・同じ作者の本を読み広げたり、表現のよさを考えたりできる言語活動になっている。
- ・情景描写に興味関心を持ち、ペア学習では二人で考える活動になっていた。
- ・家庭学習が生きていて、授業の活動とつながっていた。家庭学習をもとに、意欲的に自分の言葉で発表できていた。
- ・何のために学習するのか目的が明確で、児童は言葉をとらえてイメージ豊かに読めていた。
- ・情景描写かどうかわからない時に根拠を出し合い、深く考えることができていた。
- ・先生の話し方や言葉かけが穏やかで、子ども達は落ち着いた雰囲気の中で学習出来ていた。
- ・子どもの発言をうまくつないだり、立ち止まって考えられるように返したり出来ていた。

【課題】

- ・情景描写のおさえ方。児童に提示していた定義が適切だったのか。
- ・授業の思考の中心が「情景描写かどうかわからない」になってしまった。今日のねらいとしては、自分がどこを一番すてきな情景描写ととらえるかという点で考えさせ、ワークシートにも記入できる展開になればよかった。
- ・ペア学習では、友達の見つけた情景描写について共感したり、発見したことを交流したりするようにしたい。
- ・友達の意見を受けての深まりや気づき、意見交流がもっとあればよかった。

【取り入れる点・次につなげる課題】

- ・発表の声の大きさ。意見や考えをお互い伝え合うことで授業が深まっていくことを意識させるようにしたい。
- ・国語の時間における振り返り。友達の意見をきいて考えたことを話し合ったり、並行読書に生かしたり、単元や児童の実態に応じて設定していく。
- ・評価規準の表記の仕方。「読む」が目標の時間は、語尾を「～読んでいる」とし、どのように